

経営比較分析表（平成28年度決算）

岡山県倉敷市 児島市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	21	-	ド訓	救
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
484,174	12,059	非該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

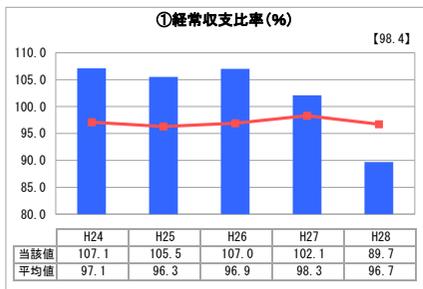
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
165	33	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	198
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
143	33	176

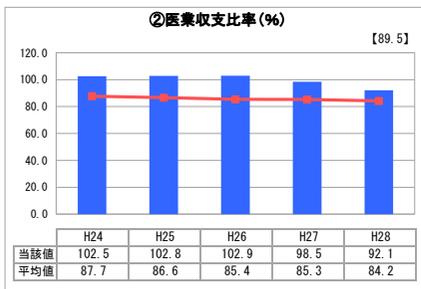
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

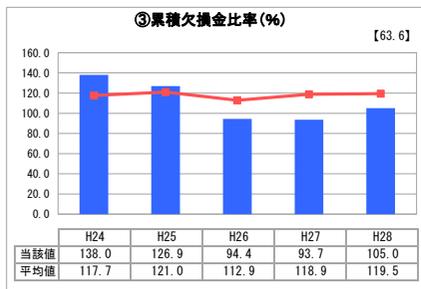
1. 経営の健全性・効率性



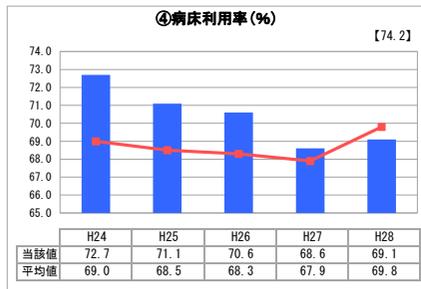
「経常損益」



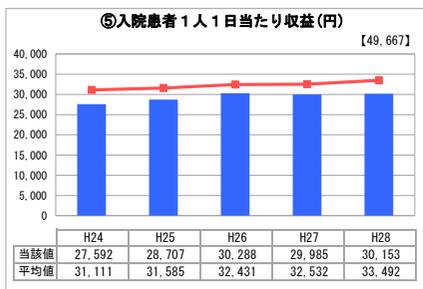
「医業損益」



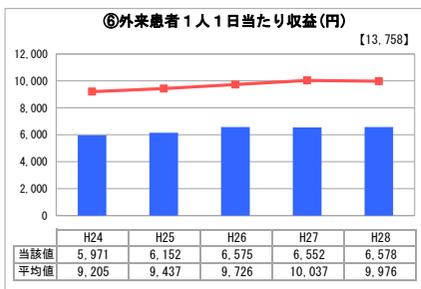
「累積欠損」



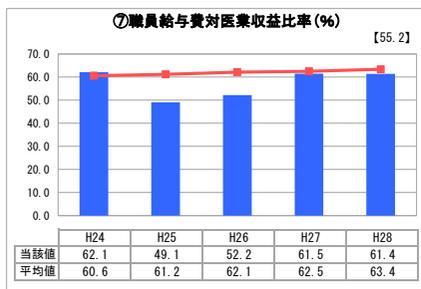
「施設の効率性」



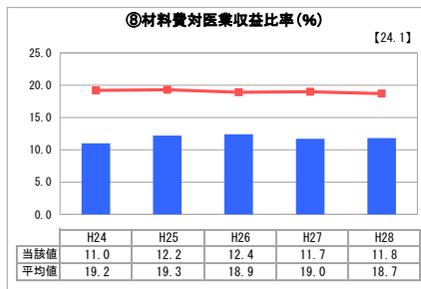
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

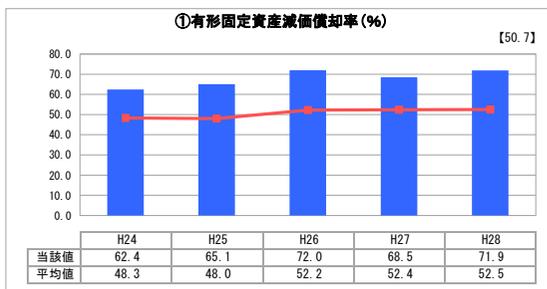


「費用の効率性①」

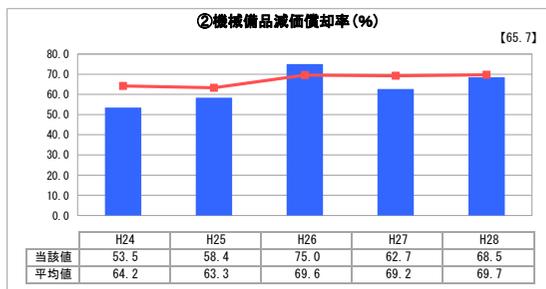


「費用の効率性②」

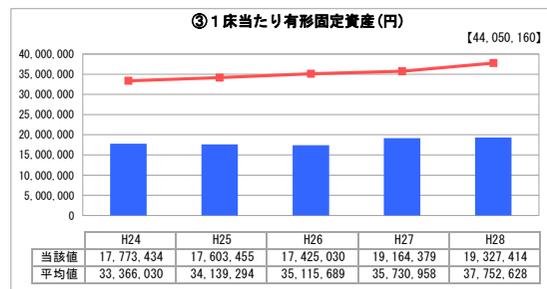
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

採算性を求めることが困難である救急医療、産期医療、小児医療を提供するとともに、市民の健康保持と福祉の増進を図るため、予防医療を充実や地域の診療所との連携を強化するなど地域の中核病院として地域医療を確保する。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収益は前年度比+1.9%増加したものの、経常費用が前年度比16%増加したことにより、経常収支比率が89.7%となった。主な理由として、看護師等の増員に伴う給与費、減価償却費及び病院建設に伴う控除対象外消費税等の増加によるものである。

また、外来患者数は増加しているものの、施設の老朽化により入院患者数が伸びず、病床利用率も70%を下回ることとなった。

患者1人1日当たり収益は入院、外来とも平均を下回っており、その原因を分析する必要がある。

2. 老朽化の状況について

昭和48年に建築された本館は、有形固定資産減価償却率が71.9%と類似病院の平均を大きく上回り、老朽化の進行に伴い、医療機能上でも課題が多く見られることとなった。

そのため、平成27年度から病院の建替え工事に着手し、平成30年4月に新病院を開院した。

全体総括

平成28年度は平成30年4月の新病院の開院に向けて、医療従事者の確保や設備投資の経費が増加したことにより、経常収支比率が100%を下回るなど、厳しい経営状況となっており、この傾向は今後もしばらく続く見込みである。このため、経費節減や医療の質の向上などの対策を講じ、病床利用率及び患者1人当たりの収益向上による収入増加に努め、病院経営の健全化を図ることが必要である。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。